

新生活をはじめるみなさんへ

4月になりました。

中学・高校に入学したきみ！進級したあなた！新生活はいかがですか？クラスメイトが変わったり、部活に入ったり、新しい恋がはじまったり・・・「この1年、どう過ごそうかな・・・」とわくわくしたり、逆に不安になってしまうこともあるかもしれません。そんな新生活がスタートしたみなさんへ、図書館からおすすめの本をご紹介します。

「13歳のキミへ 中学生活に自信がつくヒント35」高濱正伸

「大笑いしよう」「ふられても大丈夫」「部活はいいぞ」など小中学生向けの塾の先生をしている著者が、大人になった今の目線から自分の中学時代をふりかえりざっくばらんに話した、ユニークなアドバイス集です。

「Girls,Be... 女子がくじけないための小さなバイブル」松本えつを

中学生、高校生になると大人になる分、悩みが増えますよね。色々と考え込んでしまい、でも人には話せない・・・そんなこともあるかもしれません。心がちょっと疲れたとき、しんどいなと思うとき、かわいい絵とやさしい言葉で語りかけてくれるお守りのような本です。

「受験生すぐにできる50のこと」中谷彰宏

3年生になったみなさん、受験勉強がいよいよ始まりますね！心の準備はどうですか？この本を開いてみてください。「机以外でも、勉強は、はかどる」「黒板よりも先生を見よう」など、「勉強はテンションだ」という著者の、勉強をするときの思わず「本当かな？」と言ってしまいそうな「コツ」が詰まっています。

その他、「中学時代がハッピーになる30のこと」「高校時代に考えておく50のこと(女子編)」など新生活のヒントになる本がたくさんあります、ぜひ読んでみてください。

中央図書館2階読書室では、読書や調べ物ができます。調べ物のお手伝いや、図書館に所蔵していない本のリクエストも受け付けています。春から図書館を有効に利用してください♪

TEENS JOY

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト

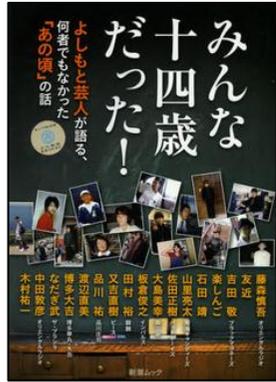


No.13 2013.4

清瀬市立図書館

みんな十四歳だった！

吉本興業＋新潮社／著
新潮社



大島美幸、藤森慎吾、渡辺直美、又吉直樹など、吉本興業のお笑い芸人さんたち17人が、自分の14歳だった頃の事を語っている本です。

14歳当時の悩み・笑い・不安など様々なことが書かれています。お笑いが好きな人、有名になりたいと思う人、そして何より14歳ってちょっとつらいついて感じる人にぜひ読んでもらいたい一冊です。

この本にはこうあります。
「みんないろいろな14歳を通り過ぎて、大人になりました。だから、君も大丈夫」

<中央図書館 横山>

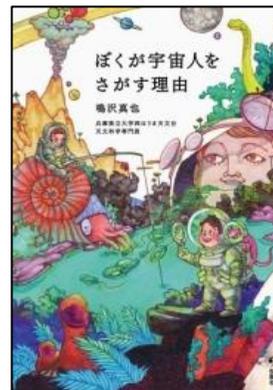
アポロ11号が人類初月面着陸した日、少年は宇宙に夢中になりました。天文学者になりたい。夢は大人になり、現実となるのです。今では世界15カ国の“宇宙人さがし”チーム「世界合同SETI（地球外知的生命探査）」のリーダーとして活躍しています。

ひきこもりやつまづきの数々、決して順風満帆ではなかった著者。夢は必ずかなうとはいいません。でも夢は決してあきらめないでください。そんな彼の強いメッセージが伝わる本です。

<駅前図書館 佐々木>

ぼくが宇宙人をさがす理由

鳴沢 真也／著
旬報社



男子が4人しか残らなかった混声合唱部に、元気だけが取り柄の一年新入部員がやってきた。飯島、乙川、山吹の3人はベース担当。

慣れない発声、呼吸法、詩の理解。悪戦苦闘する新入部員たち。なかなか思うように進まない一年生への指導に苦慮するパートリーダーたち。

前年卒業した自分たちの先輩が作詞した課題曲を歌いたい!! Nコン第70回に向けて、部員たちは汗と涙で一歩一歩突き進んでゆく。実話を基にした高校合唱部の感動の物語。

<竹丘図書館 大平>

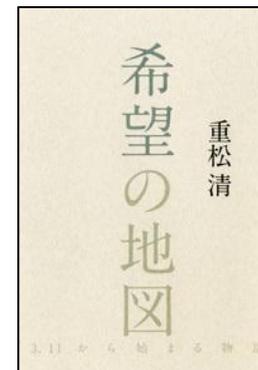
歌え！多摩川高校合唱部

本田有明／著
河出書房新社



希望の地図

重松 清／著
幻冬舎



東日本大震災後の東北地方の被災地の姿を、フリーライター田村とともに取材旅行する不登校の中学生の光司の物語として書き上げた作品です。

被災地は、津波で被害を受けた街、原発事故で被害を受けた街など、たくさんの街があり、またそれらの街にはたくさんの人のドラマがあります。そのひとつひとつを見て、感じる中学一年生の光司に、田村は被災地の希望とはなにかを問いかけます。

被災地で、そしてわたしたちの日常で大人から子どもへと受け渡されていく未来への「希望のバトン」とは、一体どんなものなのでしょうか。

<中央図書館 栗本>